

良好な景観の形成・憩いのある空間づくり

田付川を洪水に強く安全で観光地にふさわしい水辺空間へ

川幅を広くすることで、大雨時の増水に耐えられる川になります。

幸橋から下流を眺む

景観に配慮し、歩道の一部や親柱（橋の両端にある太い柱）に喜多方の赤煉瓦を使いました。

完成した幸橋

完成イメージ図
（案）

こんな川を目指しています。
護岸を石張りにすることで、温もりのある景観にします。



◆整備方針

喜多方市街地を流れる河川で、過去に洪水・浸水被害が発生しており、洪水被害を防ぐため、河川改修を進めています。また、観光地にふさわしい良好な水辺空間とするため、地域づくりと一体となった河川整備を進めています。

◆工事概要

- ・ 総合流域防災事業
- ・ 工種（H23年度実施） 橋梁工 L=43.8m